

# ほつとネット

HOT NET

## Contents

### P1 卷頭言

新生活スタイル

副院長 鶴間 哲弘

### P2 特集

新CTを導入しました～256slice全身用X線CT iCT-DSの紹介～

中央放射線室 診療放射線技師 河野 通晴

### P3 診療科発

皮膚科

皮膚科主任医長 菊地 一博

### P4 部門紹介

内視鏡室

内視鏡室室長 市川 直子

### P5 地域発

医療法人社団 友善会 琴似ファミリークリニック

副院長 正木 智之先生

### P6 北海道クリーン・システムの紹介

北海道クリーン・システム 病院営業所 副所長 山田 真理

### P7 新任医師紹介

JR札幌病院 間違い探しゲーム

ほつとネット54号当選者発表



入社式



入社式



入社式

### JR札幌病院 基本理念

心の通う医療

信頼される医療

地域社会に貢献する医療

### 基本方針

- 社会のニーズに合った専門的な医療を提供するよう、医療技術の向上に努めます。
- 患者様の権利を尊重し、プライバシーを守ります。
- 地域の各機関との連携を重視し、地域医療に貢献します。
- JR北海道の職域病院として、社員・家族の健康増進に寄与します。



H29.10.6 日本医療機能評価機構より  
3rdG : Ver.1.1の認定を受けました。

**JR**札幌病院  
JR SAPPORO HOSPITAL

JR札幌病院  
ホームページ  
QRコード



巻頭言

# 新生活スタイル

3月から医療従事者を対象に新型コロナ肺炎ワクチン接種が開始されました。今後、高齢者、その後、一般の方へ広くワクチン接種が施行される予定です。変異ウイルスの出現など不安材料は未だありますが、ワクチン接種の広まりは新型コロナ肺炎感染における次なるステージへの一歩と期待されます。

新型コロナ肺炎感染状況下の自粛生活で生活スタイルも随分変化したと思います。職場での飲み会等もなくなり、仕事終了後は自宅に直帰、自宅生活が長くなっている方がほとんどではないでしょうか？ 私自身も随分と生活スタイルが変わりました。犬を買いました。もともと犬好きではありましたか、ふと入ったペットショップでトイ・プードルのオス・メスの子犬兄妹に目が釘着けになってしまいました。抱いてみると、「僕たち二人セットで連れて行って！」と言っているように聞こえました（ますい！ 幻聴です！）。つい、2匹衝動買いをしそうになりましたが、まずは思いとどまり一旦自宅に戻りよく考えることにしました。翌日、ペットショップに電話してみると、なんとメスのみが売れてしまっていました。これは縁がなかったと諦めましたが、なんとなく気になって別のペットショップに行ってしまいました。昨日仲間入りした生後4か月のトイ・プードルが微笑みかけてきました。もう、買うしかない！と即決、家族が増えてしまいました。YouTubeを見て犬のトイレ教育を勉強し実践。しかし、なかなかYouTube通りにはいきません。トイレシートの上に連れて行き、YouTubeでの教え通り犬に「ワン・ツー、ワン・ツー」と掛け声をかけおしっこを促すのですが、どうも指図されるのが嫌らしく、吠えるだけでおしっこはまったく無し。教育方針を変更。おしっこが成功した時はひたすら褒める。決して怒らない。「あっれ？ これって、今の若者に対する教育方針と同じ？」と思いながら、ひたすら辛抱。最近は、ようやくトイレシートの上で用をたすようになってきましたが、遊びに夢中になると、気が付くと絨毯の上で気持ちよさそうにジャーと

おしっこをしてしまいます。今では、絨毯を撤去し、クッションスタイルに変更。部屋も雰囲気重視から犬用に変化。最近はゲージから出て部屋中を自由にするのが好きなようで、ゲージに戻そうとすると逃げまくり捕まえるのに一苦労です。まだまだ犬との格闘する日々は続きそうです。トイレを完全に習得し安心してゲージ外で放し飼いできるようになる頃には、新型コロナ肺炎も沈静化し、飲み会、旅行など、今までの生活スタイルが戻っていればと期待しています。

4月からは休診していた婦人科診療が再開となり、この号が発行される頃は4月採用となった新人看護師たちも少しづつ仕事に慣れてきていると思われます。コロナ変異株を含めた感染が未だ収束は見えませんが、JR札幌病院としても、感染対策強化を維持しつつ、通常診療にも今まで以上に力を入れ、質の高い医療を提供できるよう目指していきたいと思っております。



副院長  
鶴間 哲弘



特集

# 新CTを導入しました ～256slice全身用X線CT iCT-DSの紹介～



中央放射線室  
診療放射線技師  
**河野 通晴**

この度、JR札幌病院ではphilips社製の256slice CT装置“iCT-DS”を導入いたしました。

当院では、これまで2008年12月に導入された64slice CT “Brilliance64”を使用していました。導入時は最新スペックのCT装置として当院の画像診断に大きく貢献していきましたが、10年以上が経過し、被ばくや画質といった部分にさらに高度なものが求められるようになり、念願の新CT導入となりました。

それでは、新CTの特徴を紹介していきます。

## 新CTの特徴1

### ～広い撮影範囲と撮影時間の短縮が可能になりました～

当院で従来より使用しているCT装置は64スライスCT装置でしたが、今回導入されたiCT-DSでは256スライスCTとなり、1回転で4倍のデータを取得することができます。また、管球回転スピードも大幅にアップ。短時間での撮影ができるようになりました。胸部～腹部の撮影では最速で4秒以下の撮影が可能となっており、息を止めるのが辛い患者様にもやさしい検査になっております。

## 新CTの特徴2

### ～従来より低被ばくの撮影が可能になりました～

iCT-DSには被ばくを低減する技術がいくつも搭載されています。それらを適切に組み合わせることにより、従来より少ないX線量できれいな画像を得ることができ、人体にも優

しい装置となっております。

## 新CTの特徴3

### ～画質の向上により精度の高い検査ができるようになりました～

ノイズ低減技術(iDose4)、空間分解能向上技術(IMR)、金属アーチファクト低減技術(OMA)など様々な技術が搭載されています。これらの技術により、従来と比較しノイズ・アーチファクトが少なく、より細かい血管が認識できるといった高精度の撮影が可能となりました。

その他にも数々の最新ハードウエア技術(Intelligent Technology)が搭載されており、質の高い画像を提供しながら、患者さまの負担を軽減できる、「患者さまに優しいCT」で、より患者さまに「寄り添う医療」を提供できると考えています。

放射線室では、患者さん、医師両方のニーズにできるだけ応えられるよう日々精進・努力をしてまいります。今後ともよろしくお願いいたします。



図1 息止めなし高速撮影画像(胸部～骨盤まで3.5秒撮影)



図2 金属アーチファクト低減技術(OMA)  
左 元画像 右 OMAあり

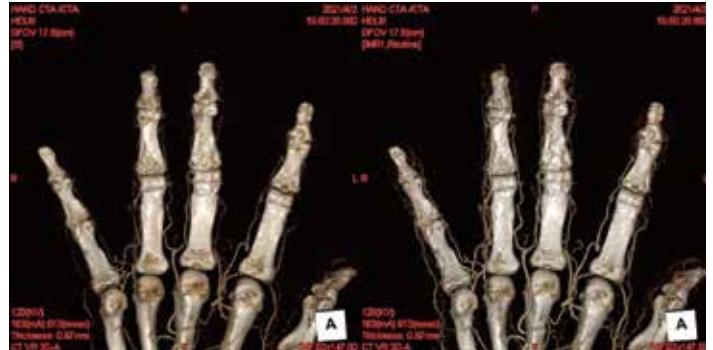


図3 ノイズ低減・空間分解能向上技術(IMR)  
左 元画像 右 IMRあり

診療科発

# 皮膚科

「皮膚科」と聞けばどんな病気が思い浮かぶでしょうか？湿疹・皮膚炎、蕁麻疹、水虫、いぼ、タコ・ウオノメ、虫刺され、ニキビ、円形脱毛症、ヘルペス、帯状疱疹など色々挙げられます。が、実は500種類以上の皮膚病があります。当科は先にあげた一般的な皮膚疾患以外にも、乾癬、自己免疫性水疱症、重症薬疹など、専門性が求められる疾患に対して、入院加療も含め治療の出来る施設です。

以下にいくつかの例をあげます。

- 1) 円形脱毛症：一般的なステロイド外用および局所注射療法のほかに、局所免疫療法(SADBE、DPCP)、冷却療法(液体窒素)、光線照射療法(ナローバンドUVB、エキシマライト)、短期入院によるステロイドパルス療法。
- 2) 乾癬：ステロイド/ビタミンD3外用薬、内服薬(チガソノ<sup>®</sup>、シクロスボリン<sup>®</sup>、オテズラ<sup>®</sup>、メトトレキサート<sup>®</sup>)、光線療法(ナローバンドUVB、エキシマライト、PUVA)、顆粒球吸着療法、生物学的製剤(生物学的製剤は、2021年時点で全11種類を取り揃えています)。
- 3) 中等症・重症のアトピー性皮膚炎：一般的な外用薬、抗ヒスタミン剤内服のほか、オルミエント<sup>®</sup>内服薬、生物学的製剤や教育入院。
- 4) 多汗症：塩化アルミニウム液外用、エクロック<sup>®</sup>ゲル外用薬、イオントフォレーシス、ボトックス<sup>®</sup>注射。
- 5) 赤アザや黒アザ(いちご状血管腫、単純性血管腫、異所性蒙古斑、太田母斑など)：レーザー照射治療(V beamレーザー、



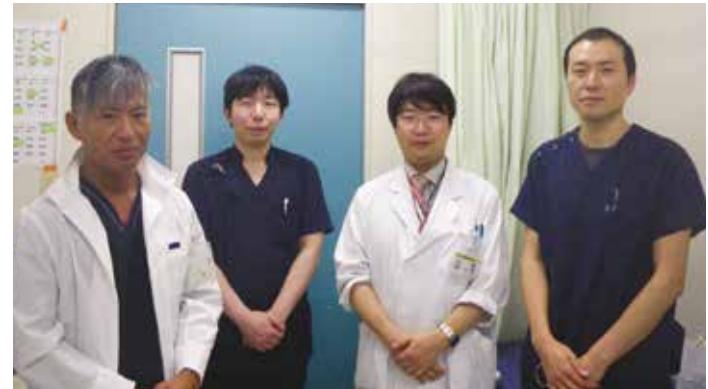
Q ALEXレーザー)。

上述のように、どのような疾患にも対応しうる治療方法、設備を整えております。

特に乾癬においては、承認施設でのみ使用できる生物学的製剤の症例数が多数にのぼり、札幌市、近郊のみならず、道北、道東など遠方から来院される患者さんも多いです。また、生物学的製剤は他に中等症・重症のアトピー性皮膚炎、さらに近年ではこれまで治療に難渋していた化膿性汗腺炎(慢性膿皮症)や壊疽性膿皮症にも使用可能となり当科でも積極的に導入しております。

保険診療以外では、男性型脱毛症に対する内服治療、顔のしみ、小じわに対する美容目的の自家製剤の外用剤を取り扱っております。また、巻爪に対するワイヤー法も施行しております。

COVID-19の状況下においても、脂肪腫の手術、重症な水疱性類天疱瘡、壊疽性膿皮症の患者さんの入院治療も無事行うことが出来ました。感染対策室、病棟、手術室など、ご協力頂き感謝しております。まだ世界的に大変な状況が続いているますが、同僚の皆と力を合わせ、なんとか乗り切れるものと確信しております。これからも他科や他施設の皆様と連携し、患者さんのお役に立つために研鑽と努力を続けて参ります。



## 部門紹介

## 内視鏡室



内視鏡室  
師長  
**市川 直子**

内視鏡室は、主に消化器内科(胃と腸、胆臍など)・呼吸器科の内視鏡検査や治療を行っています。

検査室は全部で3部屋(X線透視室含む)があり、月曜日から金曜日まで、午前中は胃内視鏡検査や大腸内視鏡検査を行っています。午後は、大腸内視鏡検査治療、胆臍関連の内視鏡検査治療・呼吸器科の検査を行っています。

スタッフは、看護師9名(うち消化器内視鏡技師資格を有する看護師4名)・専任のスコープ洗浄を行うエイド1名で構成され、他に、医師・放射線技師や臨床工学技士も携わり、多職種が協働して検査・治療が行われています。

現在、消化器内科領域の病気の的確な診断には、内視鏡検査は必要不可欠で最も大切な検査です。近年は治療的側面でも、内視鏡治療の適応が急速に拡大してきました。内視鏡技術と機器の進歩がみられ、より微細な病変の正確な診断が可能となり、検査、治療の際の苦痛も最小限度に抑えることができるようになってきました。

#### 《苦痛の少ない検査を受けるために》

当院では、内視鏡検査においてご希望の方は、外来で検査予約時に、鎮静剤の注射を希望する事を伝え相談することができます。鎮静剤の注射することで、より苦痛の少ない検査を受ける事ができます。検査後に注射の影響が少し残るため、1日車などの運転はできなくなりますが、検査自

体は楽に受ける事ができ、検査医師もよりしっかりと検査ができます。但し、検査当日にご自分で車の運転を予定されている患者さんには鎮静剤の注射はしません。

また、胃や大腸を観察する場合、以前は空気で膨らませて観察を行っていたため、お腹が張り苦しい事がありました。現在は、炭酸ガス(二酸化炭素)で膨らませて観察しています。炭酸ガスは空気と違い体内に吸収されやすいため、検査後のお腹の張りがかなり改善されより苦痛の少ない検査になってきています。

検査中は担当のスタッフが呼吸法やマッサージ、声かけを行い、患者さんが安心して検査・治療を受けていただけるように心がけています。さらに、スタッフは専門的な知識と技術をもって看護を実践しています。

内視鏡室では、内視鏡に関する専門的知識を持つ消化器内視鏡技師や熟練した経験を持つ看護師などが多く配置されています。私たちは、患者さんが「受診して良かった」と思って頂けるよう、明るく笑顔で対応することを大切にしています。

スタッフ一同、患者さんが安心して検査・治療を受けられるように、丁寧な説明と声かけを心がけ、内視鏡看護の専門性を高めるため日々研鑽しています。



内視鏡システム



内視鏡スコープ



内視鏡室スタッフ

地域発

# 医療法人社団 友善会 琴似ファミリークリニック

副院長 正木 智之 先生



当院はJR琴似駅から徒歩約6分のところに位置する、コルテナⅡという商業施設に入っているクリニックです。JR琴似駅から連絡通路を通り、一度も外に出ることなくクリニックに来院することができます。2017年5月に現在の場所に移転し、常勤医師4人で内科・消化器内科・漢方内科、訪問診療、耳鼻咽喉科・アレルギー科の診療を行っています。

ここからは各部門の紹介をさせていただきます。

漢方内科は理事長の大村先生が担当で、一人一人の訴えを詳細に聞いて診察してくれる大ベテランの先生です。

内科・消化器内科は院長の中西先生が担当です。北海道大学附属病院では肝臓チームで仕事をしており、肝臓学会専門医です。一般内科だけではなく、胃カメラ、健診、ワクチンなど幅広く診療しています。近隣の総合病院との連携もスムーズなので、安心して診察を受けていただけます。

訪問診療の担当である副院長の林先生は、多くの在宅診療の患者様を日々診察しています。優しい口調で診察をしてくれるので、ご高齢の患者様やご家族からの人気が高い先生です。

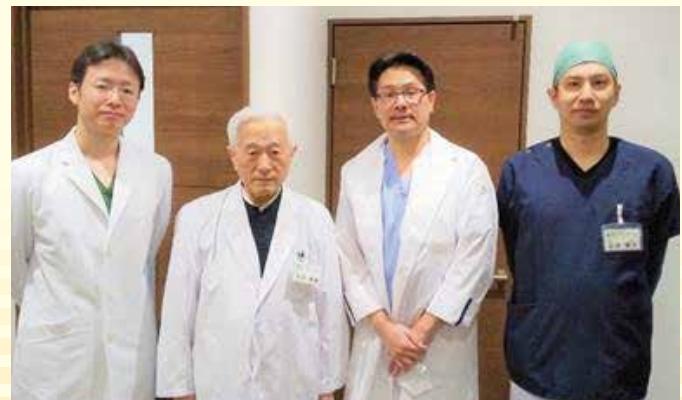
耳鼻咽喉科・アレルギー科は私、正木が担当しています。耳鼻咽喉科一般だけではなく、睡眠時無呼吸症、アレルギー検査も行っています。特に小さなお子様には鼓膜の所見をファイバーで見せることで、ご家族と中耳炎の病態を共有できるように努めています。睡眠時無呼吸症に対しては、検査からCPAP治療の導入まで行っており、現在CPAPの患者様は月50人を越えました。さらに、耳鼻咽喉科と内科が併設しているメリットとして、喉頭ファ

イバー所見で逆流性食道炎を疑う所見がある患者様をそのまま内科に紹介して胃カメラで診断したり、逆に内科の健診で難聴を指摘された方を耳鼻科で精密検査するなど、内科と耳鼻科の連携を上手に使って診察をしています。

当院のもう一つの特徴として、外来送迎を行っています。車の台数に限りがありますが、ご高齢で通院が困難な方はクリニックにご相談していただけると幸いです。さらに院内処方を行っているので、外に出ることなく薬を受け取って帰ることができます。

最後になりましたが、私が以前JR札幌病院に勤務していましたこともあり、患者様をご紹介していただきありがとうございます。これからも病院との連携を密にして、地域に根差した、あたたかい医療を提供できるように心がけていきたいと思います。

今後とも宜しくお願ひ致します。



左から、林先生、大村先生、中西先生、正木



## 医療法人社団 友善会 琴似ファミリークリニック

〒063-0814 札幌市西区琴似4条2丁目1-2 コルテナⅡ-1F

TEL 011-612-0333

理 事 長 大 村 達 雄

院 長 中 西 満

診療科目 内科、消化器内科、漢方内科、耳鼻咽喉科、アレルギー科

受付時間 月～土曜日(土曜日は午前中のみ)

AM 8:30～11:30、PM 13:00～17:00

※耳鼻科は最終受付18:00まで

休 診 日 内科: 土・日、祝祭日 耳鼻科: 木、日、祝祭日

# 北海道クリーン・システムの紹介

北海道クリーン・システムは、総合ビルメンテナンス会社として、幅広い分野での職種を展開しており、JR札幌病院においては、清掃・設備・警備・電話交換・一般廃棄物回収・リネン業務に携わっております。

なかでも、清掃は、病院新築当初から、清掃で使用するモップやタオルが汚れたら、清潔な新しいものに交換して汚染の拡散を防ぐオフロケーション方式を取り入れ、ビルクリーニング技能士7名を中心として、総勢23名のスタッフが院内感染の防止に努めています。さらに、特別清掃では、現在、床面の長年蓄積された古いワックスを全て取り除く剥離作業を実施し、少しづつではありますが、古い汚れをリセットすることに成功しています。また、当社では、技能実習生としてベトナムから来た方々を雇用しており、当院にも4名がクリーンスタッフとして元気に働いています。日本語は勉強中で、まだまだ不充分ですが、単語でゆっくり話すと結構



設備・警備・電話交換

通じますので是非声を掛けて頂けたらと思います。

ちなみにベトナム語で

『こんにちは』は【シンチャオ】『さよなら』は【タンビ工】『ありがとう』は【カムウン】『どういたしまして』は【ホンコーボー】『良い・上手』は【ナン・ト・ナン】です。

私達は、当院の職員並びにご利用される皆様へこれからも快適な院内環境の提供ができるよう取り組んでまいります。至らぬ点は多々御座いますが、どうぞご理解とご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。



北海道クリーン・システム  
病院営業所 副所長  
**山田 真理**



クリーンスタッフ



ベトナムからの4名

# 新任医師紹介

①略歴 ②専門分野 ③特技・趣味 ④一言



眼科 田中 祥恵

①1996年札幌医大卒 同眼科学講座入局。江別市立総合病院、苫小牧市立総合病院、札幌医科大学付属病院(助教)、JR札幌病院、晴生会 さっぽろ南病院勤務を経て、2021年4月より当院勤務。  
②縁内障  
③体を動かすこと ショッピング  
④おひとりお1人に、適切な医療を提供できるように努めて参りたいと思います。どうぞ宜しくお願ひ致します。



整形外科 館田 健児

①2002年札幌医大卒、同整形外科学講座入局。2012年札幌医大大学院医学研究科修了。その後、2015年～2020年札幌医大整形外科学講座助教、2021年1月より同講師。2021年4月より当院勤務。  
②整形外科、股関節外科、スポーツ医学  
③野球(観戦、指導、play)  
④患者さんに寄り添う医療を心がけています。よろしくお願ひ申し上げます。



循環器内科 戸田 悠貴

①2014年 帯広厚生病院、2015年 札幌医科大学附属病院、2017年 苫小牧王子総合病院、2019年 札幌医科大学付属病院、2020年 天使病院、小樽市立病院、2021年 JR札幌病院  
②循環器内科一般  
③サッカー、ゴルフなど  
④2021年度より着任いたしました。丁寧な診療を心がけます。お気軽にご相談ください。



麻酔科 戸ノ崎 志乃

①2008年旭川医大卒、札幌社会保険総合病院で初期研修後、札幌医科大学麻酔科学教室入局。帯広協会病院、市立室蘭病院、日鋼記念病院、苫小牧市立病院、札幌医科大学附属病院勤務を経て、2021年4月より当院勤務。  
②麻酔科、臨床麻酔  
③学生時代はバレーボールとゴルフ。今は育児で精一杯です。  
④丁寧、安全な麻酔を心がけます。よろしくお願ひいたします。



産婦人科 山中 郁仁

①1993年防衛医科大学校卒、2002年札幌医科大学大学院医学研究科卒、自衛隊札幌病院、新日鉄室蘭総合病院、小樽協会病院、NTT札幌病院等の勤務を経て2021年4月より当院勤務  
②産婦人科一般、婦人科内視鏡手術、婦人科腫瘍、周産期医学  
③マラソン、登山、海外旅行、酒  
④JR病院の産婦人科再開に寄与することができて光栄です。今は一人ですができる限り頑張りたいと思います。

クイズに答えて  
景品を当てよう!!

# JR札幌病院 間違い探しゲーム

2つの写真から、5つの間違いを探そう!  
正解者には、抽選でクオカードがもらえるよ  
息抜き、暇つぶし、頭の体操にやってみよう~



## 応募要項

応募期間: 令和3年6月1日～6月30日

応募方法: 応募用紙の写真の間違い箇所に○を入れ、地域医療連携センター前に設置の応募箱へご投函、又は、紙面上の写真を切り取って(コピーも可)○を記入し、住所・氏名を記載の上郵送でご応募ください。

応募先: ☎060-0033 札幌市中央区北3条東1丁目 JR札幌病院 地域医療連携センター

※氏名の公表を希望されない場合はペンネームを掲載いたします。

発表方法: 広報誌『ほっとネット』紙面上にて発表いたします。

## ほっとネット54号当選者発表

6つのまちがいは



応募総数 35人

抽選の結果、次の5名の方にクオカードをお送りいたします。  
いちご 様、清水 優斗 様、受験生の親 様、  
パプリカ 様、ヤスちゃん 様

## 編集後記

コロナが流行して1年以上経ちましたね。今では感染予防に重点を置いた新しい生活様式が主流となっています。今年はワクチン接種による予防効果に期待がかかっていますが、大切なのは、コロナにかからない・うつさない、という意識を持った行動が今一度必要であると考えています。雨にもマケズ、風にもマケズ、コロナにもマケズ、今年も頑張っていきましょう! (K・A)

発行日／2021年6月1日

編集長／長谷川 徹

編集者／安藤 和馬・石澤 翼彦・大村 早代・小原 健太郎・河野 通晴  
寺田 基・中澤 英之・藤原 和希

発行所／札幌市中央区北3条東1丁目

JR札幌病院 広報誌企画編集委員会

<https://hospital.jrhokkaido.co.jp/>